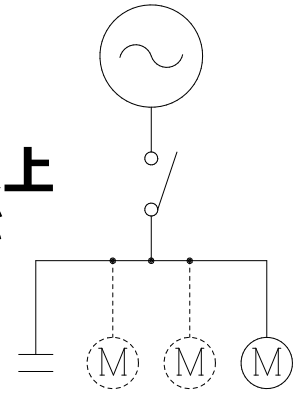
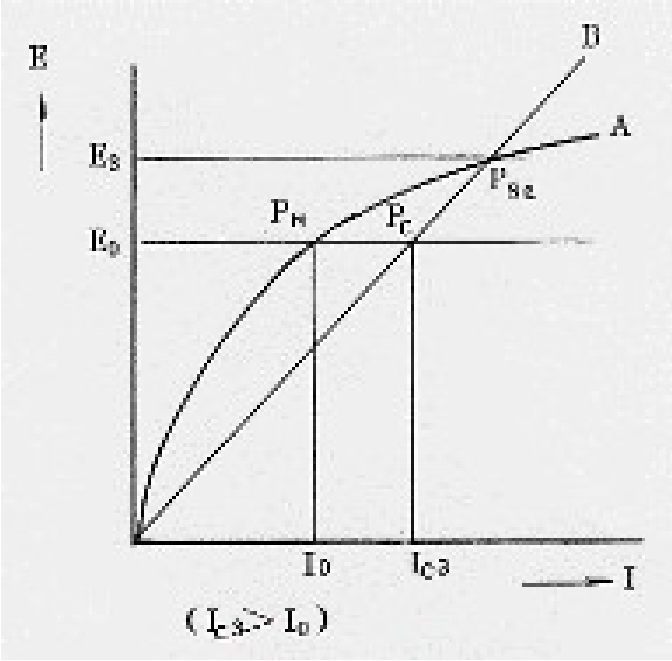
使用上の注意

特異な過電圧（誘導電動機の自己励磁現象）

コンデンサを誘導電動機と並列接続されたまま電源を開放すると電動機自身の回転と残留磁気によって、コンデンサを負荷とした発電機となり過電圧を誘起する

コンデンサ容量が大きいと定格電圧以上の大きな電圧が誘起してコンデンサが絶縁破壊することがある





曲線A：誘導電動機の無負荷飽和曲線

曲線B：コンデンサの電流電圧特性

Ic1～Ic3：開放直前のコンデンサ電流

I0：誘導電動機励磁電流

自己励磁発生の場合

防止するために、
①コンデンサを電動機より先に開放
②誘導電動機の無負荷励磁電流よりも小さい進相電流のコンデンサを選定する

内線規程（JEAC8001）にて定められている低圧進相コンデンサ取付容量基準を選定すれば自己励磁現象の発生はありません。